

令和7年度 未来アイデア会議 県民フォーラム 企画案

1 目的

- ・本県が将来に目指す「暮らしの姿」と、その暮らしをつくる「地域交通の姿」を共有する。
- ・目指す暮らしの実現に必要な費用の財源、負担のあり方を県民全体で議論する。
- ・地域交通を県民全体で支える機運の醸成、相互理解に繋げる。

2 日程および会場(案)

開催日時:令和7年12月13日(土) 13時~15時(予定)

会 場:イオンシネマ草津

+特設会場(イオンモール草津イベントスペース)

参 加 者:会場 300 名程度+WEB 参加

+イオンモール草津来店者(特設会場)

募集方法:くじ引き(無作為抽出)参加者+一般公募



R6 県民フォーラムの様子

3 内容およびスケジュール(案)

- ・意見投稿システム(Slido)を用いた参加者との意見交換をメインに行う。
- ・意見交換にあたり、県や学識経験者から事前に情報提供を行う。

項目	スケジュール	時間
開始前	SHIGA SMART ACCESS 2040s 動画	
オープニング	開会、知事挨拶	5 分
	プログラム、Slido 説明等	5 分
情報提供①	目指す暮らしと滋賀地域交通計画について 講演者：滋賀県	10 分
情報提供②	クルマの功と罪 (かしこくクルマを使うために、知っておきたい情報とは?) 講演者：筑波大学 谷口教授	15 分
情報提供③	欧米にみる持続可能な公共サービスとしての公共交通とまちづくり 講演者：京都府立大学 川勝教授	15 分
意見交換会	slido による対話 + 特設会場で中継 テーマ:目指す暮らし実現のための 財源・負担について パネリスト：知事、谷口教授、川勝教授 進 行：立命館大学 塩見教授	60 分
総括	全体講評	10 分

※知事には、一時的に特設会場に参加していただくことも検討する。

4 フォーラムのポイント

①参加者の募集方法

- 地域交通に関心がある積極的な参加申込者(200 名公募)に加え、現時点で地域交通に関心の薄い方(サイレントマジョリティ)にも参加いただくことで、幅広い層での議論を行う。

・くじ引き(無作為抽出)参加者

住民基本台帳から無作為抽出した 2,500 名に参加依頼を郵送し、このうち申込があった方に参加していただく。

100 名(参加率 4%)の参加を想定

・イオンモール草津来店者の参加

主会場(シネマ)に加え、イオンモール草津内に特設会場を設置し、フォーラム当日に買い物等で来られた一般客からパネル投票や slido による意見投稿によりご参加いただく。

②財源と負担の議論に向けた情報提供

- 財源、負担のあり方を議論するにあたり、以下の情報提供を行う。

- ・情報提供①: 県から、これまでの対話の結果等を踏まえた「目指す暮らしと地域交通計画」について説明し、参加者と県の取組、目指す方向性を共有。
- ・情報提供②: クルマ依存からクルマをかしこく使う方向へ、地域交通の社会的メリットや必要性の認知、利用に向けた情報提供を行い、自発的な行動変容を促す。
- ・情報提供③: 海外の事例紹介等により、地域交通をみんなで支え(費用を負担し)、維持・充実していくという選択肢を知っていただく。

5 特設会場でのイベント

イオン内のイベントスペース(3 階ゲームランド前)に特設会場を設置し、イオンへの一般客をパネル投票や slido による意見投稿に参加いただく。



投票パネルの例
(R7 9/20 滋賀けんせつみらいフェスタ)

《講演者(案)》

●谷口 綾子 氏 (タニグチ アヤコ)



・筑波大学システム情報系 教授

専門:交通計画、態度・行動変容研究を応用した公共交通利用促進、
交通・環境教育、リスクコミュニケーション、子育てバリアフリー等。

・滋賀県モビリティ・マネジメント研究会委員(H29～R2)

・クルマ依存からクルマをかしこく使う方向へ、人々の自発的な行動転換を
はかるモビリティ・マネジメントを中心に研究。

(参考)

・著書:「モビリティ・マネジメント入門(共著:学芸出版社)」等。

・一般公演等:「モビリティ・マネジメントの最近の動向」基調講演 鳥取県 MaaS セミナー
2024.11、「公共交通の利用促進策モビリティ・マネジメントの概要と他分野との連携可
可能性」いわきセミナー講師 国土交通省共創プロジェクト 2024.02 等

●川勝 健志 氏 (カワカツ タケシ)



・京都府立大学公共政策学部 教授

専門: 財政学・地方財政論・環境経済学

・滋賀地域交通活性化協議会 副会長

・滋賀県税制審議会 委員

・ポートランドなど、海外の都市交通経営の財源構造などに詳しく、交通ま
ちづくりと持続可能な都市交通経営に関して研究。

(参考)

・研究テーマ:持続可能な地域発展と地方環境税を中心とする税財政システムのグリーン
化に関する理論的・実証的研究、交通まちづくりと持続可能な都市交通経営に関する研
究等

・書著:『人がまちを育てる:ポートランドと日本の地域』(編著)公人の友社(2020 年)